

Y's Men's World



編集担当者のページ



コシー・マシュー

インド、バンガロールからのご挨拶!

ワイズメンズワールド(YMW)誌のこの号は、2年間の休刊後に初めて発刊されます。最後に発刊されたのは2013年10月でした。紙媒体のYMW誌は、現在の電子・デジタル通信時代においてお役御免になったと思われるのではないのでしょうか。しかし、あらゆるレベルの会員の皆様が、印刷されたYMW誌がないのを残念がって、復刊してほしいという強い希望を表明されました。それを受けて、2015年8月に京都で開催された国際議会から私に本年度の編集担当者になるよう依頼がありました。そのような依頼を受けたことは、私にとって本当に名誉なことなので、この光栄な仕事をお受けしました。

国際議員の皆様には、私を信頼してこの好機を与えて下さった事に対して敬意を持って感謝したいと思います。

YMW誌の記事を集めるのは、控え目に言ってもやり甲斐はあるが、とても困難な仕事です。国際本部へのニュース提供は、過去2年間に日常的にありましたので、短期間でこの号を発刊する事ができました。また、YMW誌の内容を更新するのにフェイスブックのようなSNSにもかなりお世話になりましたので、その事にも感謝しています。ワイズメンズクラブ国際協会の全ての区の活動内容がある年度に発刊されるYMW誌に少なくとも1回は掲載されることを願っています。世界には43の区があるの

ですから!

それを実現し、区や国レベルの多種多様な優先的な取り組みを掲載する為には、任命された編集担当補佐の皆様には、これまで以上に率先して情報提供頂きたいと思います。また、YMW誌が地球規模の関心事とローカルレベルの活動を網羅した真の国際的な出版物となる為には、幾つかのあるいは全ての区のブリテン編集担当者とそれぞれのエリア編集担当補佐とが連携し、二人三脚で取り組まなくてはなりません。

私の前任編集担当者ウォーリー (アラン・ウォリントン) に心から感謝します。彼は、スカイプを使って、この編集作業に関するコツと要領について助言してくれたので、安心してこの任につくことができました。私が筆を置く前にYMW誌の以前の号でウォーリーが書いていた言葉を転載します。「編集担当者として私が、YMW誌を書くわけではありません。それを書くのは会員の皆様です。私の仕事は、記事の投稿を促し、出来るだけ手助けを行い、最終的に送られてきた記事から選択して出版の割付をする事です。いつでも記事の投稿を歓迎しますが、できれば締切日前にお願いします。」(YMW 2007/8 第3号) 私の立場も同じです。しかし、この号に関して、いくつかの記事はネット上で見つけた写真や短い説明を元に私自身が書いた事を告白しなくてはなりません。

発行する為に写真をどのように送付すればよいかについてのウォーリーの助言が下にあります。(ボックス内を参照のこと)

楽しんでお読みください!

それでは次の号まで、

ワイズ運動における、皆様のご健勝をお祈りしております。



記事寄稿者への注意事項

ワイズメンズワールド誌は、締切日前ならば、いつでも記事 / ニュース(写真の有無は問わない)を歓迎します。以下の助言がお役に立つと思います。記事 / ニュースは、受け付ける可能性が高くなるという理由で、300語程度の長さにして下さい。

写真に関しては、印刷に必要な質の解像度は、写真をスキャンする時に必ず少なくとも300 dpiを選んでください。写真を実物大でスキャンした後に最高画質で保存し、jpgフォーマットでメールに添付してください。もし写真がデジタルカメラで撮られている場合は、メール用に圧縮しないでオリジナルをお送り下さい。1600×1200ピクセル以上を使用するようにお願いします。目安として、電子ファイルが200KB以下ならば、印刷するには十分に鮮明でない可能性があります。携帯電話で撮られた写真は、しばしば最終的にデジタルフォーマットだけになりますので、携帯電話の写真の使用は避けてください。—編集担当者(前任者アラン・ウォリントンの説明を修正使用)

表紙の写真: 京都比叡山延暦寺の歴史的史跡を訪れている第26回アジアエリア大会に出席した代表。

写真提供: デーヴィッド・ウェイ・リー(シンガポール)のフェイスブックのページ

次号に掲載する記事・写真の提出締切日: 2015年11月20日

国際会長からのメッセージ



2015/16 国際会長
ウィッチャン・ブーンマバジョン

親愛なるワイズ運動の同志の皆様へ

ワイズメンズワールド(YMW)誌の紙面を介して皆様とお会いし、過去から現在に至る尊敬すべきリーダーの皆様と共にワイズメンズクラブ国際協会からのご挨拶を申し上げることは私にとって大きな喜びです。

冒頭にあって、国際議会に対して YMW 誌を復刊させ、新しい編集担当者を任命する手続きを踏まれた英断に感謝の意を表したいと思います。YMW 誌は、ワイズメンズクラブ国際協会がポール・ウィリアム・アレクサンダー司法官の人を鼓舞する指導力の下に 1922 年に創設されて以来、3 万人を超える会員とその家族に留まらず、我々の組織に委ねられたミッションを共有する世界中の YMCA と YWCA に関わる何千人もの人々と繋がる世界に開かれた我々の窓なのです。アレクサンダー司法官が 93 年以上前にアメリカ合衆国の YMCA を支援する目的で設立した奉仕団体である我々の組織は「強い義務感を持つ、義務はすべての権利に伴う」という、極めてやり甲斐のあるモットーを旗印に現在は 73 カ国以上に広がっています。

ワイズメンズクラブ、Y サービスクラブの一員として、どのように我々の責任を果たすべきかについて私の夢を語らせてください。会員の皆様に精力的に取り組んで頂こうと私が掲げた国際会長主題「信念のあるミッション」は、聖パウロのヘブライ人への手紙の「信仰(信念)とは、望んでいる事柄を確信し、見えない事実を確認することです。」(第 11 章 1 節)に基づいています。この夢を実現する上で皆さんは、以下の本年度の 6 つの優先事項の実現の為にリーダーとして全身全霊で取り組むことが求められています。

◆年間で少なくとも会員数を 9% 増やす為の方策を探る。2016 年 7 月までに新入会員を獲得し 32,700 名の会員を確保するよう取り組む。私はきっと実現できると確信しています。

◆様々な国際プログラム、特に EF と世界中の多くの人々の生活を向上させるのに役立つ TOF-GPF に貢献できるように献身的に取り組む。

◆情熱を持って周りの地域社会で CS 事業に取り組む。決められた強調月間にはさらに努力を注ぐ。上半期も三ヶ月が経過し 10 月は CS と BF の強調月間となっています。

◆我々の組織の創設者の遺旨を受け継ぎ、協働原則に基づいて YMCA との提携関係を強化する。最近、社会経済と企業について学ぶために韓国で開催されたアジア・太平洋 YMCA 同盟総会に参加しましたが、そこで学んだ事を CS

事業を通じて YMCA と共有することができます。

◆国際プロジェクトであるマラリア撲滅に関して、国連、国際赤十字、赤新月との協力関係を維持する。

◆ユースが過去から受け継いだ我々の財産であり、未来でもある事を認識するために世界中のワイズメンズクラブが 12 月(7 ~ 13 日)のワイズ週間を祝う。

私は 7 月 ~ 8 月にかけて京都で開催された活気溢れる素晴らしいアジアエリア大会に出席しました。大会は、960 名の参加者全員を団結させました。国際執行役員・アジアエリア執行役員合同の華やかな就任式を、厳かに執り行われた藤井寛敏元国際会長に心より感謝しております。600 人を超えるメンバーが参加した第 3 回韓国エリア大会が 9 月 4 日 ~ 5 日に群山で開催され、大規模な式典と祝賀会が催されました。韓国エリアのワイズクラブは、2016 年 8 月 4 日 ~ 6 日に台北で開催される国際大会の次に、麗水で 2018 年に開催される国際大会をホストすることを心待ちにしています。

我々に委ねられた崇高な使命を協調して果たす為に、会員の皆様とリーダーの皆様から全面的な支援が得られますよう期待しております。ワイズ運動を継続する為の皆様の素晴らしいご奉仕に感謝申し上げます。「信念のあるミッション」という私の夢を皆様と共有する上で、マザー・テレサがかつておっしゃった言葉を私の座右の銘としたいと思います。

「私は愛と情熱を信条としています。」この信条を肝に銘じて、同じように地域社会と隣人に尽くしましょう。そしてワイズ運動が全能の神の道具であることを悟りましょう。

皆様に感謝すると同時に神様の祝福がありますように。

我々は、ワイズ運動の真価を信じています。

ワイズメンズクラブ国際協会 ビジョン 2022 と目標

ビジョン 2022 我々のモットー「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」を堅持し、我々の住んでいる世界をより良い世界にする為に活発に奉仕活動を行い、YMCA、国連、その他の有意義な組織と密接に協働しつつ、特にユース育成に重点を置きながら、人間の価値を促進しようと尽力する強靱で献身的な会員を有すると認知された、地球規模の視点を持つ、ボランティア奉仕団体となる事を目指す。

2022 年に向けて(ビジョン 2022 を実現する為の目標)

- ・ワイズメンの会員数を 100 カ国ベースで少なくとも 50,000 人に増強する。
- ・ビジョン 2022 はワイズの組織とその使命に関わることなので、地球規模でワイズメンの働きを強化する。
- ・YMCA と地域社会の為に必要とされる奉仕を提供する。その結果として・地域社会におけるワイズメンのイメージアップと認知度を上げることができる。
- ・ワイズメンズクラブ国際協会と国際プログラム全般についての会員の認識を深める。

親愛なる友人の皆様へ



国際書記 西村隆夫

ジュネーブの国際事務局からご挨拶申し上げます。

2年に1度開催される国際大会の中間年である今年には、多くのエリア大会が開催されました。フェイスブックのようなSNSのお陰でこれらエリア大会の写真を見てすぐに喜び

を新たにできます。最も成功を収めたエリア大会の一つは、8月に京都で開催された2015年国際議会の直後に京都で開催された第26回アジアエリア大会です。フェイスブックやその他のSNSには、これらの行事の膨大な数の写真が掲載されましたので、我々のほとんどがその場で体験した親交と友愛の情の一部を共有できたのではないのでしょうか。

国際議員数を21名から15名に減らすという前回の国際議会議決に基づき、二人の若い議員を含め15名の議員で国際議会が開催されたのは、初めてのことです。しかしながら、誠に遺憾なことに地元大会実行委員会と旅行代理店が最善を尽くしたにもかかわらず、若い国際議員の1人を含む4名のインドの国際議員とTOF-GPF委員会委員長が入国ビザを得ることが出来ませんでした。従って、国際議会の定足数である10名での開催を余儀なくされました。最終日には、アフリカエリア会長が到着して11名となりましたが、彼女の到着が遅れたのもビザ取得の問題が原因でした。

議会の議題には、ウィッチャン・ブーンマパジョン国際会長を議長とし、フィリップス・チェリアン新国際会計を含む国際執行役員の支援を得て、議論し、議決しなくてはな

らない多くの協議項目がありました。国際書記が、バンコクで開催された2015年国際年次会議における満場一致の合意に基づき、タイにサテライト(本部から離れた衛星のような小規模の)事務所を設ける新しい計画を提示し、その関連予算が2015年国際議会で承認されました。このサテライト事務所は、タイでの法的手続きが整い次第、2016年7月頃に稼動し始める予定です。

国際議会は、とても実りある会議でした。また大多数の出席者は、その後に開催されたアジアエリア大会で親交を深め、新しい友人と出会い、旧交を温めて楽しい時を過ごしました。

アジアエリア大会では、アイザック・パラシカル2014/15年度国際会長が、ベンソン・ワブレ元国際会長に2014/15年度バランタイン賞が授与されることを発表しました。残念ながら、同氏は、エリア大会に不参加でしたが、大会参加者、特に2010年横浜国際大会以来ワブレ氏を知っている参加者は、この発表を聞いて嬉しく思いました。

次の国際大会は、台湾区の主催により台北で開かれます。ワイズ運動の歴史を通じて台湾で国際大会が開催されるのは、初めてのことであり、今年のアジアエリア大会には、2016年国際大会のプロモーションの為に100名の台湾代表団が出席しました。また韓国の麗水で2018年国際大会が開催されることが決議されました。韓国からやって来たテレビ取材班は、京都でこのニュースを収録して、韓国国営テレビで放送しました。現在、YouTube (<http://youtu.be/uwqaxPEXHnQ>)でそのニュース報道のビデオを見ることが出来ます。皆様の所属するクラブの会員の方々と、この興奮を共有し、2016年台北国際大会と2018年韓国国際大会にぜひ参加されるように奨励ください! ワイズの心を込めて

ご機嫌よう!ポーリーン

ポーリーン・グロス は、ジュネーブ国際本部で30年近く奉仕した後、ワイズメンズクラブ国際協会を退職しました。彼女が担った多くの責任の中でも、印象的だったのは、奉仕年度上期・下期ごとにクラブの会員数データを驚異的な能力を発揮して集め、管理していた事です。それだけでなく、ゴールデnbック、ポール・アレキサンダーフェロー、新クラブチャーター設立に必要な証書を手際よく準備していました。ワイズメンズクラブ国際協会のあらゆるレベルの組織と業務に通じていた彼女の博学さは、何物にも代え難い財産であり、国際本部の同僚だけでなく世界中のワイズ運動にとっても大きな損失となるでしょう。

個人的には、ポーリーンが私の仕事をサポートしてくれた事に恩を感じています。私は、彼女が全てのワイズ関係の事柄に精通した、まさに生き字引であると思いました。きっと皆様の多くが彼女に対して同じ愛着と感情を抱かれていると思います。

私達は、ポーリーンが楽しみに満ち、退職後ではあっても活動的な生活を送る事を願っています。

(写真)提供:直前国際会長アイザック・パラシカル、国際会長通信2014-15、第3号



次期国際会長の思い



ジョーン・ウィルソン

2015/16 年度次期国際会長

次期国際会長として、数多くの素晴らしいリーダーの方々の足跡を辿ることは、私にとって光栄なことです。特に私が女性として国際会長となる光栄に預かる僅か 2 人目の女性である事を自覚しています。何よりも

まず、私が Y サービスクラブの 1 会員である事に何ら変わりはありませんが、組織のリーダー職における真の男女平等に向けて我々の運動が前進する上で、私が女性であることは、極めて重要です。将来、益々多くの女性リーダーが誕生することを期待しています。性別に関係なく、我々のリーダーを選ぶ際には、その人物の掲げるワイズ運動のビジョンと目標を基準に選ぶべきでしょう。

世界中のワイズメンズクラブの会員は、これまでしてきたように、これからも自分以外の人達の為に素晴らしい働きを続けます。同様に、勢いのあるクラブ、区、エリアには、そうでないクラブ、区、エリアの為に尽くす多くの機会があります。

その好例の幾つかをご紹介します。

◆全てのエリア、区、とりわけインドやアフリカで困っている人々に現地で直接奉仕活動を行う。 ◆会員を増強し、新クラブをチャーターして、そのクラブが軌道に乗るように長期的にメンター（助言者）として関わる。 ◆仙台津波復興募金活動や韓国被災地派遣医師団のように、

何か災害が起きた場合には、仲間のクラブを支援する。
◆ヨーロッパエリア内で幾つかの部に財政援助をしているように、財政的に豊かなクラブや区が、大きな支援を必要としているクラブや区に財源や専門知識を提供する。さらに◆アジアエリアとラテンアメリカエリアと地域の YMCA の協力に顕著に見られるように、プロジェクトや目標に関して YMCA と協働する。

我々の運動は、非常に多くの素晴らしい活動を行っているため、それらを認め、讃える為のより良い方策を探らなければなりません。目にした善行を讃えることを心に留めましょう！

将来を展望すると 1922 年当時には、想定していなかった幾つかの課題に我々が直面している事も認めざるを得ません。これらの課題をただ否定的に捉えるのではなく、それらを前向きに進化するための好機であると受け止めましょう。私は運動体としてのワイズメンズクラブ国際協会は、岐路に立っていると思います。それは、我々の運動の取り組み方の一部を劇的に変えるか、衰退の一途を辿るかの二者択一なのです。我々の大部分が、この進化の過程に関わりたく切望しており、その目的の為に持つ技術と才能を進んで活用したいと考えているはずですから、我々の成功を祝い、直面する課題をワイズ運動が発展する為のまたとない好機に転換する為に全てのレベルのリーダーの方々と協力し、支援するよう皆さんに訴えたいと思います。仲間と協働する事によって、遥かに多くのことを達成できるのです！

皆様のご多幸をお祈りしています。

ワイズのスリットを込めて



京都国際議会の様子

上段左:意見を述べる世界 YMCA 同盟 YL 担当国際事業主任ポール・ヘンリック・ホウヴ・ジェイコブソン 中央:2018 年国際大会に関する議決を待っているアジアエリア会長エドワード・オング、韓国の国際議員と通訳者、ルーマニアの若い国際議員 右:同僚の国際議員と議論するジョーン次期国際会長 下段左:発表を行うヨーロッパエリア会長 中央:アイザック・パラシナル直前国際会長がウィッチャン国際会長に聖書と議長用棺を手渡す。右:ウィッチャン国際会長が、国際議会初日に新国際議員とエリア会長と次期エリア会長を正式に任命。



活動するワイズ・メネット



ワイズ・メネット国際ディレクター
キャロル・ダンバー

私は、メネット国際ディレクターとして、日本の京都で開催された国際議会に出席しました。メネット国際ディレクターには、国際議会での投票権はありませんが、メネットの関心や懸念に関しては勿論、発言の機会があり、考慮の対象とされます。幸運にも元メネット国際ディレクターのシルビア・レイズ・デクロキ(1985-86)とお話する機会がありました。シルビアは、国際憲法に関わる事項に関する専門知識を提供する為に国際議会に出席しましたが、メネットに関わる問題についての彼女の知識と経験は極めて豊かです。国際議会の後に、アジアエリア大会に出席し、その開催中にアジアエリアの多くのメネットの方々とお会いする事ができました。西日本区の関係者の皆様の素晴らしいおもてなしに心から感謝申し上げます。

昨年度、過去に承認された改正を反映する為にメネット国際手引書が改定されました。改定された手引書は全てのエリアディレクターに回覧され、国際のウェブサイト www.ysmen.org にアップロードされました。それぞれのエリアの責任は、この情報を区を通じて各クラブへと伝達し、この貴重な内容を全てのメンバーが入手できるようにすることです。クラブにその必要があるエリアでは、翻訳して現地語版の国際手引書を作るべきです。

メネット活動概観

2012-16 メネットプロジェクト・コーディネーター
ガーリー・ホルム

今年ジャマイカ部主催で開催されたエリア大会に参加する為に、カナダ / カリブ海エリアの数人のメネットがノバスコシア(カナダ)から出かけました。ジャマイカ部は、ユースとの協働に我々の未来がある事をエリア大会で実証しました。



大会に参加したメネット達は、サバンナ・ラ・マール(上の写真)にある拠点センターのツアーに心を躍らせました。ここは、カリブ海諸国唯一のメネットクラブの発案で始められたコミュニティ拠点センターです。このセンターは、無料インターネットアクセスだけでなく、コンピューター訓練、技能

訓練、サマーキャンプ、コミュニティー庭園などのプログラムを提供しています。

ピクトウ郡ワイズ・メネット(カナダ / カリブ海エリア・マリタイムズ区)は、10月に開催される第42回年次古本販売セールの準備に奔走しています。集まった資金は、彼女達の多くのCS事業の支援の為に使われます。例えばYMCA デイキャンプ&ユースリーダーシップ・グループ、燃料ファンド、フードバンク、地元の図書館、小児病院などですが、地元の士官学校のグループは、重たい物を運ぶ手伝いをしてくれます。



クラブ会計エレノア・スミスと2人のボランティアが古本市の準備にあたっている。

インド・ケララ州の未亡人と貧しい女性の社会復帰プロジェクトは、2014年9月に始まりました。野菜の苗の配給は、大きなイベントだったようです。このプロジェクトの第1段階では、銀行手続き、自営のノウハウ、起業の機会などに関する幾つかの研修会が開催されました。最近では、ケララ州農業局の指導員を招いて、未亡人と貧しい女性の為に農業セミナーが開催されました。貧しい人々の為に150の援助野菜と100本のココナツ苗木とは別に、1,000粒のバナナの種、6,000袋の野菜の種、1,000キロの基礎肥料が配給されました。

ブラジル・サンパウロ市、ヴィラ・マリアでの教育プロジェクトによる技能習得は、公共サービスを受ける事ができず、困難な生活状態に置かれている低所得世帯の6歳から15歳までの子供達の支援を行っています。ヴィラ・マリアYMCAがこのプログラムを主幹し、サンパウロ・セントロワイズメンズクラブが支援を行っています。活動内容は、スポーツ、レクリエーション、情報科学を活用した知識の取得、やる気を出すコミュニケーション&口頭・筆記表現訓練及びダンスです。



創造的技術習得に取り組んでいる子供達

子供達は、ワイズメンズクラブ国際協会から贈られた寄付金の一部でコンピューター、プリンター、テレビ、その他の機器を購入しました。

YMCA 照明の品質を向上— お金を節約し排出量を減らす

コリン・ランビエ*

チェンライ YMCA は、旧型の蛍光灯照明を新型のエネルギー効率の高い照明器具に交換して品質を向上させる為に、ワイズメンズクラブ国際協会の二酸化炭素削減ファンドに申請しました。このプロジェクトは、妥当な費用で温室効果ガスを減少するという、二酸化炭素相殺ファンドの申請条件を満たしました。このようなプロジェクトによる温室効果ガス削減は、ワイズメンズクラブ国際協会のリーダー達が会議の為に旅行する事によって排出される二酸化炭素量を相殺するのにつながります。

チェンライ YMCA のプロジェクトでは、459 本の旧 T8 型 36 ワット蛍光灯を新 T5 型 28 ワット蛍光灯に交換しました。また、個々の蛍光灯に接続する古い安定器も交換した結果、合計で 1 本当たり約 15 ワットの節電になりました。使用時間を元に計算すると、このプロジェクトでチェンライ YMCA は、大幅に電気料金を節約できますが、年間およそ 27 トンの二酸化炭素の排出を減らすことにもなります。T5 型蛍光灯の寿命からすると排出量の削減にかかる費用は、1 トンあたり約 40 米ドルです。電気料金の節約と排出量削減が、最初に取り付けた T5 型蛍光灯の寿命が尽きた後も、つけ替えて続けられると考え



ると、長期的な利益はさらに大きくなります。

2015 年 2 月、チェンライ YMCA は、温室効果ガスの影響について認識と理解を高めるために環境とエネルギー保全の重要性に関する意識向上トレーニングを小学校の児童を対象に実施しました。このトレーニングには 9 つの小学校の 8 歳から 12 歳までの児童 763 人が参加し、YMCA が地球温暖化の影響、気候変動と省エネと環境保全の関連について指導しました。

*コリン・ランビエは、ワイズメンズクラブ国際協会グリーン(環境)チームの責任者です。ワイズメンは、温室効果ガス削減プロジェクトを実施するよう奨励されています。プロジェクトに必要なファンド申請は(以下の)アドレス(まで、) (ColinLambie@ysmen.org.au.) まで、詳細については HP (<http://ysmen.org/index.php?id=236>) まで

ワイズメンズクラブ国際協会環境政策

ワイズメンズクラブ国際協会は、環境問題の解決に献身する組織です。ワイズメンズクラブ国際協会は、我々の組織が環境に与える影響を減少させる義務を負っています。この義務は、ワイズメンズクラブの活動に関わる権利に伴う義務です。ワイズメンズクラブ国際協会の環境政策は、持続的な方法で活動し、環境に与える影響を最小限に抑え、我々の自然環境を守り、維持し、回復する事です。

ワイズメンズクラブ国際協会は、以下の方法で環境保全への積極的な取り組みを実践します。温室効果ガスの削減、水の持続可能な使用—我々は効率の良い水の使用法を採用し、促進します。土地と資源の持続可能な使用に加え、地域社会で指導的な役割を果たし、啓蒙活動を行います。

より良い環境の為のコンポスト容器

コリン・ランビエ*

ワイズメンズクラブ国際協会グリーン(環境)チームからの財政支援を得て、スリランカ、モラトゥワの YMCA は、生活環境を改善する目的でゴミの分別とコンポスト容器の使用促進の為に、地域住民を教育するプロジェクトを実施しました。このプロジェクトは 60 個のコンポスト容器を通じて 300 人に広がりました。コンポスト容器は家庭菜園を始めることに関心のある選ばれた世帯に配給されましたが、最終的には近隣の全ての住民が、その恩恵を受けることになるでしょう。

コンポスト容器配給に先立ってプロジェクト参加者に対して、その目的と容器の適切な使用について説明がありました。また、参加者には、有機ゴミとプラスチックや瓶などの非生物分解性ゴミを分別するよう指導がありました。参加者と YMCA は、コンポスト容器の適切な使用、管理、定期点検に関して合意に至りました。毎月、モラトゥワ YMCA 特別委員会が、プロジェクトの進捗状況をチェックする事になります。

このプロジェクトの次の段階では、ゴミ管理と学童のコンポスト容器使用に関する教育プログラムも計画されています。



コンポスト容器近隣に届く

断食のときグローバル・プロジェクト・ファンド

TOF-GPF 委員長 T.M. ホセ

1973年にTOF-GPFが始まって以来
ワイズメンズクラブ国際協会は
およそ620万米ドルを
様々なYMCAプロジェクトとCS事業と
世界中の緊急事態の為に寄付しました。

TOF-GPFプログラムは、ワイズメンの間で広く受け入れられつつあります。異なるエリアからあがってくる提案の数が着実に増えている事が、この事実を物語っています。今年度に関しては、24プロジェクトの提案を受け付けました。その内2件は、様々な理由から却下され、4件が次年度の審議に委ねられました。申請要求総額459,411スイスフランとなる残りの18件のプロジェクト概要と関連裏付け詳細資料が、評価の為にTOF-GPF委員に送られました。

慎重な審議がなされた後、以下の提案が2015/16年度のプロジェクトとして国際議会で承認されました。

◆ミャンマー・カチン州、Myitkyina で実施されるAPAY、YMCA シンガポール・ベータークラブ提案のミャンマー・カチン薬物リハビリプロジェクト。

◆パレスチナ・東エルサレムで実施される東エルサレム

YMWCとスウェーデン区提案のプロジェクト東エルサレムYMCAユース・ポテンシャルズ。

◆ウルグアイ・モンテビデオの辺境地域で実施されるモンテビデオYMCAとYサービスクラブの実施するプロジェクト、教育格差を埋める社会統合の為に橋。

◆インド・ケララ州フォート・コチで実施されるYMCAフォート・コチとコーチン・ウエストワイズメンズクラブのプロジェクト、女性の権限・能力強化プログラム&ユース・資源センター。

◆エクアドル・カントン・クイント・ピチンチャ州で実施されるYMCAクイントとエクアドル・クイントYサービスクラブのプロジェクト、創造的テクノロジー訓練校。

◆インド・ケララ州。アーナクラムのYMCAエアラピュラムとエアラピュラムワイズメンズクラブの共同プロジェクト、自営によるユースと女性の権限・能力強化。



TOF ファンド YMCA チャリティーショップ開店に役立つ

TOF 献金の支援を得て最近開店したチャリティーショップは、ジョージ・ウィリアムズ・ユース協会 GWYA (コソボ州にある YMCA) のプロジェクトです。販売用の衣類の入手は、ワイズメンの支援によって可能になりました。彼らは、ホルステブローワイズメンズクラブによって組織されたデンマークのワイズメンから寄せられたトラックに満載された衣類を寄付しました。

コソボ州ジャコバ市のこのチャリティーショップは、ジャコバ市長ミモザ・クサリリラ女史とコソボフィールドグループの会員によってテープカットされました。今回の取り組みは、GWYA の最初の慈善活動ではありません。クリスマスの前後には、貧しい家庭にお菓子の袋を提供したことで、地域社会からとても感謝されました。GWYA は、取り組んでいるプログラム数も組織規模も拡大しています。

フィールド・グループの会合では、会員が「学童対象の放課後の活動」や「YMCA・女性の権限・能力強化」といった感動を与えるようなプロジェクトを提案しました。これらのプログラムは、地域社会の為にやっている全てのワイズメンズクラブの奉仕活動を強力に支援しているジャコバ市から提供された建物の中で実施されています。



チャリティーショップ開店式典でのジャコバ市長
ミモザ・クサリリラ女史(写真提供:ワイズメンズクラブ国際協会)

ワイズ運動これまで未踏の地域に拡大

ディビッド・ルア、新クラブ設立担当国際事業主任

モンゴル・ウランバートル

2014 年末、中東アジア内陸の国モンゴルで最初のワイズメンズクラブであるウランバートル Y サービスクラブの加盟認証式が執り行われました。また、このクラブは、香港チムシャツイワイズメンズクラブと東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブによって国境を越えて設立された最初のクラブです。オリエンテーションを受ける為にモンゴルから YMCA のリーダー達がシンガポールと香港を訪れた 8 ヶ月後に活動を開始しました。

これは、チムシャツイワイズメンズクラブ会長と新クラブ設立担当アジアエリア事業主任を兼任する山田公平、アジア・太平洋 YMCA 同盟 (APAY) 総主事を経由したワイズメンズクラブと YMCA の強い協働関係を物語っています。



偉大な指導者ジンギスカンの像の前に集う会員

フィジー・スヴァ

太平洋の島国フィジーの新クラブであるスヴァ Y サービスクラブは、今年 6 月にチャーターされました。この新クラブ構想も APAY と Y サービスクラブ会長との合同会議から生まれました。スヴァで開催された一連のオリエンテーション会合の後、精力的な若いメンバーのグループが一緒になってクラブをチャーターしました。

リー・ディッチフィールド理事、ジェニファー・ジョーンズエリア会長、ラッセル・ジョーンズエリア会計、クリスティーン・ヴァン・ダー・ズー次期理事が加盟認証状伝達式に出席しました。(情報源: 南太平洋エリア・ブリテン)



南太平洋エリアのリーダーとスヴァクラブの会員

YMIとIFRCのリーダーが提携関係を確認

最近の事です、ワイズメンズクラブ国際協会 (YMI) の代表が国際赤十字社・赤新月社連盟 (IFRC) のプログラム・サービス担当事務総長補佐ウォルター・コッティー氏と面会し、次回の RBM 基金納付分として 210,000 スイスフランを手渡しました。5 年計画の募金キャンペーンが始まって以来、YMI は、これまでに 340,000 スイスフランの募金を集めました。更に 2014-15 年度分の募金が増加される事になります。

前回 2014 年 7 月に開催された国際議会において、議会はこの募金キャンペーンの延長を承認することで、更に支援をする意向を示しました。その結果このキャンペーンは 2018 年 6 月 30 日までに終了することはありません。コッティー氏は、YMI と IFRC との現在の提携関係をとても前向きに捉えており、RBM は両組織の提携関係の氷山の一角に過ぎないと強調しました。同氏は、特に YMI が世界的なネットワークを持つ YMCA と類まれな関係を持っている事に注目して YMI との提携関係を更に強化したいとの希望を表明しました。

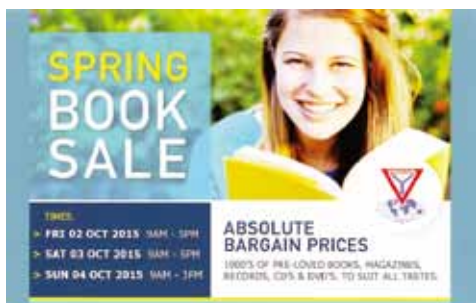
最新の YMI の募金は、シエラレオネで使用され、殺虫剤で処理した効果が長く続く蚊帳 (LLIN) の購入費の一部として充当されました。「母と子供の健康週間」と歩調を合わせると共に、ノルウェー赤十字社と国連財団の大きな支援を得て合計 3,523,766 張の LLIN が国中に滞りなく配給されました。この RBM 活動が行われた時期には、国を襲ったエボラ出血熱の勃発と人道的危機が高まっていたが、その真只中で YMI が惜しみなく寄金を提供し LLIN の大量配給が可能になった事に対して、IFRC とシエラレオネ赤十字社は、感謝の意を表しました。



(左から)ジェームズ・オレ(YMI)、ティナ・ロス・スタインズ・ドール(YMI)、国際書記 西村隆夫(YMI)、ウォルター・コッティー氏(IFRC)、浅羽俊一郎(YMI)、メラニー・カルソ女史(IFRC)、ジェイソン・ペイト氏(IFRC)
(写真提供:ワイズメンズクラブ国際協会)

オーストラリアの活発なサービスクラブ

オーストラリア・ベンディゴ Y サービスクラブは、地域社会と世界中の環境のニーズに応えている献身的な会員集団として現地の地域社会に波及効果を及ぼしています。「春のブックフェア」は、ベンディゴ Y サービスクラブが支援する意義ある地域プロジェクトの資金を集める手段の一つです。例えば、ベンディゴ・ユース合唱団、ベンディゴ地域 YMCA、ベンディゴ放射線治療、空飛ぶ医師サービス、ベンディゴデスカバリーセンター、非暴力センター、OTIS 財団などです。ベンディゴ Y サービスクラブは、オーキース・レイル・トレイル上に設置する椅子／テーブルの資金を寄付しました。それらは、ベンディゴ・キルモア・レイル・トレイルの友・株式会社によって設置されました。



今年のブックフェアの広告

ベンディゴ Y サービスクラブは、地域社会が所有するポリビニル製太陽電池をベンディゴ図書館の屋根に設置する為に最初に寄付を行った組織の1つです。800ドルの寄付金で80のパネルの内2つの費用を賄うことができます。ソーラーパネルの寄贈者に対してベンディゴ図書館設置のスクリーン上で感謝の意が表示されています。

過去6ヶ月の間にベンディゴ Y サービスクラブは、復活祭書籍市をはじめとする募金活動で集まった寄金を使ってハンセン病ミッションの支援を行いました。

またCFA(郡消防署)消防隊を支援する目的でベンディゴ Y サービスクラブは、新しい無線機購入の為にメイドゥン・ガリー消防隊に1,500ドルを寄付しました。

情報源:ベンディゴ Y サービスクラブの Facebook のページ



椅子の設置作業をしているベンディゴの会員とその椅子

愛を込めてソックスと帽子をロシアに

マリナ・マカロヴァ
元理事、ロシア

「すみませんが、ロシアの孤児の為にノルウェーの女性達が編み物を編むプロジェクトはまだ行われていますか?そのプロジェクトについて読んだのですが。」とアレンダルで開催されたエリア大会で、ある女性が私にはにかみながら尋ねました。実を言うと、そのような特別なプロジェクトは、ありませんでしたが、ある親切な人物がいました。ノルウェーのワイズメンの友人の友人であるその人の名前は Reidun Lyby です。彼女は長年ロシアの子供達の為にソックスと帽子を編んできました。そのロシアの子ども達のためにノルウェーに滞在する為にやって来た全てのロシア人ゲストは、空っぽのバッグを持って来るように依頼されていました。

間違いない。私は二人目の「親切な人物」の存在を確信しました。数分後に彼女は、ウールの帽子の入ったビニール袋を持ってき



分配しました。ノルウェーからのソックスと帽子で一杯のスーツケース
挿入写真:Liv Gjerstad さん

その女性の名前は、Liv Gjerstad で、退職した歯科医です。彼女は、音楽、特にオペラが好きであることが理由で、美しい帽子を編む意欲を掻き立てられました。私が受け取ったペテルズブルグ分の帽子の1つはすでに受取人の所に届きました。15歳のワイズメンズクラブの会員で、家庭の問題で現在、児童保護施設に収容されています。残りの帽子は、彼女の新しい友達に分け与えられました。

エリア大会から帰国する際に私たちはオスロで Reidun Lyby さんに会うことができました。ノルウェーの親切な天使にどのように感謝すればいいのでしょうか。私達の結論は、彼女にロシアの芸術家の作った繊細なガラス製の天使を贈る事でした。

天使達のする仕事は、全く目には見えませんが、我々の生活にはとても重要なのです。

皆様と Lyby さんと Liv さんに神様の祝福がありますように！

フィリピンからの報告

マカティ・ゴールデンワイズメンズクラブ、サンピロワイズメンズクラブ、マノク家族ボランティアの会員は、マカティ YMCA と協力して、無料視力検査を実施しました。そして、およそ 180 人に無料の読書用眼鏡を配布しました。その人達のほとんどがマカティ Y M C A



周辺地域バランゲイズの高齢者達でした。

ラハ・フィリピンズワイズメンズクラブは、マカティ YMCA と協働して「情報通になろう」と題して初歩の防災についての研修会を実施しました。



ラハキャンプの救急車の前で、ウィッチャン国際会長とボランティア

サー・キコ氏(フランシスコ・ヴァルガス緊急医療技術者)率いるラハワイズメンズクラブのボランティアがホステルとマカティ YMCA の従業員・安全担当職員を対象に防災・防火に関する研修を行いました。シニア Y クラブのボランティアとキッズ・プレイラボ保育園からの従業員も参加しました。防災研修第2弾は、訓練立案と実地訓練です。

情報提供:マカティ YMCA

ワイズメンが香港のグリーン・ウェーブキャンペーンに参加

香港新界ワイズメンズクラブは、国際産業精神文化促進機構(OISCA International)香港支部、屯門 YMCA、その他の組織と協働してグリーン・ウェーブキャンペーンに参加しました。キャンペーンは、21 の学校と9 の協会で実施されました。例えば、ある学校では、先生達が 230 人以上の生徒を引率してグリーン・ウェーブ活動に参加して、環境保護や様々な種類の植物の育て方について有益な助言を与えました。別の学校では、今年 700 人以上の生徒が果物のなる木の植樹に参加しました。生徒達は、パパイヤ、レモン、ブドウ、モモ、イチジクの 5 種類の苗木を植えました。



国際 OISCA (オイスカ) は、アジア、アフリカ、ラテンアメリカで活動している NGO (非政府組織) で、農業と生態系保存と人間の精神の相関関係を重視しつつ包括的な取り組みを通じて人類の環境に優しい持続可能な発展に貢献しています。

情報源:香港新界ワイズメンズクラブと OISCA 香港支部のフェイスブックのページ



会場の1つに集まるワイズメンと(下)熱心な生徒達

ワイズメンズワールド 2015/16年度 第1号

発行者:ワイズメンズクラブ国際協会

西日本区理事 遠藤通寛(大阪泉北)

東日本区理事 渡辺 隆(甲府)

国際編集長 Koshy Mathew

日本語翻訳・編集責任者 谷本秀康(東広島)

日本語版翻訳者 倉田正昭(京都)、谷川 寛(大阪センテニアル)、
青木一芳(千葉)、後藤邦夫(東京町田)、今城高之(横浜つづき)、
田中博之(東京)

印刷 (株)三浦印刷所

大陸間の奉仕の繋がり

マーチン・ダンド、カナダ
(フェイスブックのページより)

オタワのYサービスクラブとケニアのキベラYMCAは、長年に渡って前者が後者の幾つかのプロジェクトを支援するという歴史的な関係を維持してきました。最近の最も顕著なプロジェクトは、YMCAの地域中心のプログラムの実施場所となっているキベラYMCA教育センターです。例えば、今年の7月に200人を超える子供達が、敷地内で実施された無料医療キャンプで腸チフスワクチン予防接種を受けました。



これが実施された建物の名称「デイビッド F. ホール」は、元カナダエリア会長でありオタワ国際 Y サービスクラブの現会員であるデイビッド・ホールワイズに因んで名付けられました。銘板(挿入写真)は、この2つの組織間の歴史的繋がりを思い起こさせます。

パーピドム(避難所)ーホームレスの人達の家

B. パヴィスラン、編集補佐、インドエリア

パーピドム(避難所)は、中西インド区の主要なプロジェクトです。今年になって土地は持っているが家を持たない貧しい人達の為に10棟を超える家が提供されました。進捗状態は様々ですが、およそ40棟の家が建築中であり、今年中にホームレスの人達はその恩恵を受けることになります。このプロジェクトは、今年およそ70棟の家を寄贈することを目的としています。建築にかかる総工費は、4000万ルピー(約615,000米ドル)前後になります。その理由は、場合によっては、このプロジェクトから恩恵を受ける人達もしくは、彼らの支援者や親戚の人達が費用の一部を寄付してくれるからです。ワイズの会員も必要な場合には、土地購入代金を支払うと申し出てくれました。

1棟の広さは、約400～750平方フィートで、建設費用は、1平方フィートあたり約1,000ルピーです。建設途中で資金不足のため家の建設を途中で断念せざる



新居の前にたたずむニーシャ・ケイさんと家族
(挿入写真)建設中の家の1つ

を得ない貧しい家庭がある場合には、このプロジェクトでは配慮がなされます。それらの家庭の為にパーピドムが家を引き渡す前に、残された建設作業を請負います。場合によっては、建設費用を調達できる貧しい家庭には、土地も寄贈されます。プロジェクトの恩恵を受けた家庭の1つが、ニーシャ・ケイさんの家族です。彼女は、72歳の未亡人で、2人の小学生の子供を持つ離婚した娘と同居していますが、集団居住地内に約1,000平方フィートの土地を持っていました。

ワイズメンの1人が750平方フィートの住宅建設にかかる750,000ルピーの費用全額を負担すると申し出ました。ケイさんと彼女の小さな家族は、雨露をしのぐ為の場所を探して路上をさまようことがなくなったと喜んでいました。

カナダのワイズメンの道

アール・フォスター、カナダ / カリブ海エリア

セントジョン・Yサービスクラブ(カナダ)の会員は、チャール通り沿いにある施設の開所式前に100,000ドルの小切手を寄付しました。この寄付をした事で、建物の正面玄関に通じる道は、「ワイズメンの道」と呼ばれています。この道は正面ロビーにあるシェリル・クローリーの描いた巨大壁画へとつながっています。



キャロンドレット Y サービスクラブ 年次ブックフェア

デビー・レッドモンド、元アメリカエリア会長
キャロンドレット Y サービスクラブ(中央アメリカ区)の会員は、毎年恒例のブックフェアにボランティアとしてだけでなく、セントルイス周辺の地域社会におけるワイズメンズクラブ活動の共同資金調達者として積極的に参加しています。

YMCA 年次ブックフェアは、1978 年から開催されていますが、元々は南セントルイス市ラフ・バロウの歴史に名高いキャロンドレット YMCA を支援するキャロンドレット Y サービスクラブの会員によって体育館の小さな行事として始まりました。現在は、5 日間開催の行事にまで成長し、寄贈された膨大な数の書籍を収容できるように、会場も広い場所であるセントルイス郡のセントルイス郡公園局に変わりました。何千冊もの書籍を何百人ものボランティアが何ヶ月もかけて収集、分類してきたことが、通常 8 月に開催されるこの行事につながったのです。

ブックフェアの利益は、Y コミュニティー識字プログラムだけでなく、キャロンドレット・パーク・スポーツセンターとワシントン大学学 Y のユースプログラムの為にも使用されます。長年に及ぶ活動により販売総額は 200 万米ドルを超えました。

2015 年度ブックフェアは、8 月の木曜日の 1 日を「内見会」とし、この日のみ入場は有料となりましたが、金曜日から月曜日までは、ブックフェアへの入場は無料でした。



キャロンドレットで購入されるのを待っている本の山

YMCA チャリティーバザー

ハン・ジュン チョウ、BE 担当区事業主任、台湾

台湾中央部の全 11 クラブのワイズメンは、台中 YMCA が毎年 12 月に 200 以上のブースが出店する大規模なチャリティーバザーの支援を過去 12 年に渡って行っています。ブースを出店して参加する個々のワイズメンズクラブは、販売する為の新品の電化製品、衣類、靴、絵画、道具、工芸品、文房具、食品など様々な品目を寄付します。昨年ワイズメンは、17 のブースを出店して台中 YMCA の為に 6,700 米ドルの資金を集めました。このお金は、独身女性が貧困を克服し、片親しかいない子供達が英語クラスに通うプログラムを YMCA が実施する為に用いられます。

YMCA は、独身女性がグルメ料理人になって、自分の作った料理の販売促進する方法を指導します。今では、彼女達の作った料理は、お客さんのお気に入りとなりました。そうすることで、彼女達は、定期収入を得て家族を支える事ができます。

片親しかいない子供達の指導に関しては、YMCA が複数の専任のアメリカ人英語教師を雇用しました。

今年は 130 人の子供達が授業に出席しています。授業は、週 3 時間、年 48 週行われます。これまでに、300 人以上の子供達がこのプログラムの恩恵を受けました。中には 2 回も 3 回も受講する子供もいます。



2014 年のチャリティーバザーの 1 シーン

ステップ・フォー・オール プログラムの紹介

STEP For All 特務委員会共同議長

バーブロ・ソレン

ジョン・ウィルソン

2013-14 年度元理事 スウェーデン
2015-16 年度次期国際会長 カナダ

ワイズ運動の国際プロジェクトで胸が躍りますか？

これまでに他国で過ごす STEP 事業の選考年齢条件に自分が当てはまればいいのにと願ったことがありますか？別のエリアで TOF プロジェクトを個人的に援助したいですか？

これらの質問に関して1つでも「はい!」の答えがあるなら、多分ワイズメンズクラブ国際協会の新しいプログラムであるステップ・フォー・オール (STEP For All) は、あなたにうってつけのプログラムです!

このプログラムは、2014 年 9 月に始まりました。STEP For All は、Y サービス(ワイズメンズ)クラブの個々の会員に TOF 国際プロジェクト基金(TOF-GPF)に関連するボランティア休暇に参加する機会を与えてくれます。そのかわりに、会員は、我々の組織の国際問題への積極的な取り組みを支援する事を求められます。また、オプションとして BF ファンド準備金で旅費の一部補助を申請する事もできます。

Y サービス(ワイズメンズ)クラブ国際協会は、その主たる文言と行動において、平和と正義に関わる地球規模の問題に積極的に取り組み、人々のニーズに応え、貧困を減らす事を目的とする、より存在意義のあるボランティア団体になる事を熱望しています。これらのビジョンと夢を国際事業でより明確にする為には、なんらかの「現地での」実践的な取り組みを行う手段が必要です。そういう訳で TOF-GPF プログラムが誕生しました。

TOF-GPF 活動に取り組んでいる一人一人が、我々が住んでいる世界をより良くする為の一助となっているのです。STEP For All は、積極的な参加と奉仕ができるように、これらのプロジェクトをより多くの会員に開放して、あらゆる年齢の会員を取り込み、地元 YMCA やクラブとの支援と協働関係を強化するよう提案しています。我々は、このプログラムによってユースの参加機会がこれまで以上に増えると信じています。このプログラムの参加者として、あなたは貧困、正義、人権といった地球規模の問題に直に触れることになるでしょう。

そのような使命と背景を持つ STEP For All 特務委員会が 2012 年スタヴァンガー国際議会で任命され、直ちに作業に着手しました。このプログラムによって影響を受ける

ことになるので、TOF-GPF 議長と BFECC (BF 支出委員会議長)との協力が必要でした。2014 年チェンナイ国際議会で、その方針・手続き・裏付け資料が承認されました。それ以降 STEP For All の申請受付がおこなわれています。会員は、申請して、このプログラムのボランティアとなった場合、自分に与えられたファンドで旅費を賄っても良いのですが、ワイズメンズクラブ国際協会のファンド (BF 資金)からの助成金を申請することも可能です。

共同議長として我々は、STEP For All の理念を熱烈に支持しており、これが大いに活用されることを期待しています。我々は、このプログラムが TOF-GPF に関する地球規模の問題の提起者であり広報担当者として会員の皆様にワイズ運動の新たな次元を提供してくれると確信しています。それが人生に一度しかない経験となることは、言うまでもありません。

会員の皆様が STEP For All に申請されるよう奨励いたします。



TOF-GPF プロジェクト「コスタリカをライトアップしよう」の地元の参加者が人里離れた山岳地帯の家にソーラパネルを設置する為に奥地に旅行する準備をしている。写真提供者は、STEP For All の最初の申請者ブライアン・ミニエリー

あなたは、知っていましたか？



ブラザーフッド資金 (BHF) がもともととは
ビショップ資金と呼ばれていたことを？その理由は…

1931 年クリーブランドで開催された国際大会は、収支決算後、総額 800 ドルの「黒字」を計上しました。このお金は、「国際会計自身がワイズメンズクラブ国際協会の大儀を促進するうえで適切と考える目的の為に使うように」と国際会計に委ねられました。

この資金を元にビショップ (監督) 資金が誕生しました。この資金は、ワイズメンが国際大会に参加して、組織全体の働きを学ぶことが出来るようにとの目的で使用されました。この名称は、同じような資金の名前に由来しています。これは、あるプロテスタントの教派のビショップ (監督) がその使用を適切と考え、利用できる資金です。

1969 年になって初めて、その名称がブラザーフッド資金と変更されました。

ハイデラバードクラブと 彦根クラブ IBC 関係 50 周年を祝う

IBC 担当国際事業主任

V. ヴィジャヤ・クマール

彦根ワイズメンズクラブ(西日本区)とハイデラバードワイズメンズクラブ(中央インド区)の IBC 関係が輝かしい 50 年を迎えました。そもそもハイデラバード YMCA 総主事兼ハイデラバードクラブチャーター会員である D.S. チンナドライ氏が 1964 年に彦根(滋賀県)を訪れ、彦根 YMCA の西森ハッピー(末次郎)ワイズと友人になった事から全てが始まりました。西森ハッピー氏が、1969 年にハイデラバードを訪れた事により彦根とハイデラバードとの兄弟クラブの絆が強まりました。その後も西森氏は写真、思い出の品物、バッジその他の記念の品々を定期的に送られました。我々は、それらの物品をクラブ会員の間でオークションにかけて、収益金を BF 資金に充当しました。クリスマス、お正月、その他の機会に挨拶の言葉の交換が定期的に行われ、全ての会員が署名した挨拶状がクラブ例会で披露されました。

1987 年に西森ワイズが他界された後は、あとを継いだ島野喜道氏の活発な指導力の下に IBC 関係は更に強められました。同様に手紙のやり取りと両国間の相互親善訪問は、途切れることなく継続しました。島野氏はインドとハイデラバードを 35 回以上訪問しました。また、毎年研修ツアーを組んでワイズメンと YMCA 関係者のグループを引率し、彦根からインドを訪れました。毎年 12 月の最終週にワイズメンと彦根 YMCA のチームがハイデ

ラバードを訪れ、ハイデラバードクラブの会員と共に正月休暇を過ごします。この訪問は過去数年間の恒例特別行事となっています。元エリア会長 V. ナラシムハオ氏(インドエリア)は、訪問団のハイデラバードでのホームステイとおもてなしの手配と計画に尽力しました。

これまでに、300 人以上の日本人関係者がインド文化、教育制度、人々の生活様式について学ぶ為にハイデラバードを訪れました。彼らは、重要な歴史的遺跡も訪れます。ハイデラバードクラブは、その後、沼津クラブと IBC 締結をおこない、現在 3 クラブの間で IBC トライアングルが成立しています。

彦根クラブの公式祝典に出席する為にハイデラバードからやって来た多くのリーダーは、様々な機会を捉えて彦根とそれ以外の日本の都市を訪問し、日本の友人の皆様のおもてなしを満喫しました。私は、彦根クラブと沼津クラブとの IBC 締結 50 周年式典に出席し、つい最近ハイデラバードに戻って来たところです。



IBC 提携 50 周年特別例会で出された特別なポスターのお披露目

一方京都では…



8 月に開催されたアジアエリア大会の付随行事では、2 組の IBC 提携クラブが集って、覚書と贈り物を交換し、歌を歌い、ダンスを踊ってその絆を確かなものにしました。左の写真は、東香港アイランドワイズメンズクラブの会員と台湾桃園ワイズメンズクラブの会員(アジアエリア)



右の写真は、ハワイ・ヌアヌワイズメンズ・ウイメンズクラブの会員(アメリカ)、香港バウヒニアワイズメンズクラブ、日本・センテニアルワイズメンズクラブ(アジア)の会員(写真は、どちらもアンディー・フ氏のフェイスブックのページから転載)



藤井寛敏元国際会長による国際会長とアジアエリア会長の就任式



アジアエリア大会で挨拶をする京都市長(の挨拶)



2015 年 8 月、日本の京都で開催された国際議会の出席者



2018 年の国際大会開催権を得た韓国代表団の歓喜に満ちた会員

2016 年の台北国際大会のプロモーション用ポスター

